



蒲生野

令和2年度 第4・5合併号①

令和2年10月15日発行
京丹波町立蒲生野中学校



保護者の皆さんの絶大なるご協力を得て、今年度の体育祭が無事終了しました。

今年度の体育祭は、コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、教職員と生徒たちが一丸となって、新しい体育祭を作りあげようとしていたのが、とても印象的でした。どのようにすれば、密になるのを防ぐことができるのだろう、どのようにすれば感染拡大を予防するための手洗い等を効率的にすることができるのだろう。生徒会本部や生徒会体育委員会のメンバーとともに三觜、湯浅、石橋先生が中心となり、体育祭を担当する者と意見交換し合理的な方法を考えていました。そして放課後になると、体育祭担当の清水、井上、坂上、平井先生をはじめとする有志の教員が、実際に競技を指導する際のシミュレーションをグラウンドで暗くなるまで作りあげていました。



体育祭の予行では、審判を担当している先生が中心となり、実際に生徒の動きを確認しながら行うので、競技そのものも運営もシミュレーションどおりにうまく運ばない部分が出てきてしまい、その都度調整変更して、ブロックリーダー等と確認しながら行うという場面が出てきていました。山内先生を中心に指導している放送関係も、最初に作っていた例年を参考にした原稿では、みんなにうまく伝わらない部分が多くあることが分かり、乾、松重先生と広報委員会のメンバーとともに練り上げ、本番に向けた新たな原稿を作りあげることになりました。

生徒の活躍はいまでもありませんが、コロナ禍の影響で、どのように応援すればよいか、どのようにすればその思いを伝えることができるのか、ということを考えながらも、ブロック長、副ブロック長をはじめ、全生徒が事前の取組から、予行、本番まで自分の持っている力を精一杯発揮する姿に、私自身大きな感動を得ることができました。

今年度は保護者のご来場に際し、学校側から様々な要望をお伝えし、ご協力をお願いしてまいりました。PTA本部の皆様をはじめ、各委員会の役員の皆様におかれましては、献身的にご協力いただきました。本当にありがとうございました。このように皆さんに支えられていることに、心から感謝し、今後の様々な行事に繋げていきたいと考えています。ありがとうございました。

校長 井戸 仁



8月に職員研修をしました。

8月17日
QUテスト研修



8月19日
「新学習指導要領」の研修

今年の8月は夏休みが短かったのですが、教職員も子どもたちに負けないよう、研修を実施しました。

17日は、井戸校長先生が自ら講師となり、QUテストの研修を、そして19日には、瑞穂中学校・和知中学校の先生方と一緒に、南丹教育局から指導主事の先生方をお招きして、来年度から新しくなる学習指導要領について研修しました。

20日21日には、京都府総合教育センターから講師をお招きして特別支援教育と道徳教育の研修を行いました。

校内だけでなく、京丹波町の中学校の先生方や、様々な講師の先生方とのつながりで、より深い研修となりました。



8月21日
道徳教育研修



8月20日
特別支援教育の研修

南船新人大会

8月29日 軟式野球



8月29日の軟式野球・バレーボールを皮切りに、南船新人大会が始まりました。

バレー部は、1回戦八木中学校に2-0で勝ち進み、準決勝では園部中学校と対戦し3位になりました。野球部は、八木中学校と対戦しました。

部活動の軸となった2年生が、チームをまとめ、1年生とともに元気に活躍しています。



美術部では、「文化を未来に伝える次世代育み事業」の一環として、町内ステンドグラス制作『ジャポンランド』の土屋隆亮様、土屋志保様を講師としてお招きし、ステンドグラス制作に取り組みました。

美術科の桐原先生にも指導を仰ぎ、四季の花の一つひとつを、部員がデザインし、銅のテープや、はんだごてでパーツを繋げる作業をしました。

A棟の踊り場に設置され、彩りの映える様子がとてもきれいです。

8月 主な行事



8月29日 バレーボール

美術部～ステンドグラス制作～

